

HP: <https://rakuno.org/>

同窓会通信－野幌だより－

酪農学園同窓会ニュースレター

高校・短大・大学 同窓生関連の最近の話題

トピック (スケジュール)

- 04月06日 酪農学園大学入学式
- 04月08日 とわの森三愛高校入学式
- 04月17日 酪農学園同窓会理事会
- 04月18日 機農高校釧路地区同窓会
- 04月22日 世界獣医師大会時同窓会
- 04月28日 大学校友会理事会
- 05月20日 獣医学科2期生同期会
- 05月23日 酪農学園同窓会代議員会
- 05月29日 大学校友会理事代議員会
- 06月07日 九州地区理事会
- 06月20日 埼玉県支部総会
- 06月21日 長野県支部総会
- 06月27日 千葉県支部総会
- 07月04日 ホームカミングデー
- 07月04日 短大同窓会代表委員総会
- 07月04日 貴農同志会総会
- 07月04日～05日 大学祭(白樺祭)
- 07月26日 新潟県支部総会

2026年度酪農学園同窓会代議員会報告



5月23日(土)午後4時から約2時間、新さっぽろアークシティホテルを会場にして、2026年度の代議員会が開催されました。南は宮崎県から北は道東中標津町までの地区支部役員と単位同窓会役員総勢40名の出席により開催されました。会議に先立ち、野英二会長のご挨拶ののち、2025年度にご逝去された同窓生や教職員への黙祷が行なわれた。代議員会の成立要件の確認後、議長に南繁氏、議事録署名人に加藤浩氏、加藤由郎氏を選任した。議長の進行により議事が進められた。

議案では

- 1) 2025年度事業報告並びに収支決算について、事務局から事業報告、決算報告を述べたのち、監査報告が立川監事から行われた。
 - 2) 各単位同窓会・地区支部活動報告については、事前配布のため資料確認のうえそれぞれの地区や単位同窓会の活動内容概要が報告された。
 - 3) 2026年度事業計画並びに収支予算案が提案され承認された。
- その後、多くの方々から校名変更問題に関する意見が出され、有意義な総会となった。最後に議長解任のあと、福山副会長から閉会挨拶が行われた。総会終了後、集合写真撮影ののち、同会場において懇親会が開催された。

酪農学園同窓会の現況(卒業生数)2026.04.01

2025年度 累計卒業生数

大学院 計	1,812名
大学 計	35,544名
短大 計	9,487名
高校 計	22,584名
合計 計	69,427名

酪農義塾 計 303名
酪農学校 計 *91,517名

* 出典酪農学園史2巻より

総合計 161,247名

地区支部の設置状況()は未設置

北海道1区:石狩	3支部(1)(江別)
北海道2区:道央	6支部(2)(空知1)(胆振2)
北海道3区:道南	5支部(2)(後志1)(後志2)
北海道4区:道北	6支部(1)(留萌1)
北海道5区:道東	6支部(0) 26支部(6)
東北地区 :	6支部(0)
関東甲信越地区:	10支部(0)
中部地区:	7支部(0)
近畿地区:	6支部(0)
中国地区:	5支部(0)
四国地区:	4支部(0)
九州地区:	8支部(0) 46支部(0)

目次:

酪農学園同窓会代議員会報告	1
大学同窓会校友会理事代議員会報告	2
古希特別力餅奉納	2
獣医同窓会inTOKYO開催報告	2
堂地修教授退職記念式典開催報告	2
谷山弘行前理事長元学長を偲ぶ会	3
獣医学科2期生58周年記念同期会	3
2026年度酪農学園同窓会理事会	4
編集後記	4

同窓会開催報告

2026年度大学同窓会校友会理事代議員会報告



５月２９（金）午後６時から、新さっぽろアーキシティホテルの４階ハマナスを会場に、２０２６年度の理事・代議員会が１８名の出席により開催された。加藤浩事務局長の司会で進行し、野英二会長から開会挨拶が行われた。

議事は代議員の小阪進一を議長にして行われ、議事録署名人には山崎耕太理事、岡本吉弘代議員が選出された。議事は第1号として（2025年度事業報告、収支決算、監査報告）、第2号として（2026年度事業計画と収支予算）、第3号として助成金規程の改正について（案）が協議され、一部加筆を含め原案が承認された。その他では1在学学生アンケートの実施結果報告、2として校名変更のアンケート結果（校友会分析）および関連資料を基にして、校名変更の賛否について活発な意見交換が行われた。総会終了後、7時半過ぎから別室（スズラン）を会場に懇親会が開催され、加藤浩事務局長の進行により、野会長挨拶および乾杯のご発声により和気藹々として懇談の時間を持つことができた。南繁理事の乾杯により中締めが行われ懇親会を終了した。

[illegible]

古希特別力餅奉納

令和8年2月23日に京都醍醐寺五大力さん力餅奉納が執り行われました。2017年に横綱の称号を頂いた私は規約上原則奉納できません。ただ本年古希を迎えどうしても、もう一度世界遺産醍醐寺金堂前の舞台上で奉納したい想いが募っていました。思い切って奉納申し



込みをしましたがキャンセルの返答でした。諦めていたところ、数日後に、かつての横綱が古希を迎えた記念として特別奉納という位置づけで、いくつになっても挑戦続ける雄姿を見せることは、参拝者の方へも勇気をあたえてくれるのではないかと思います。と、嬉しいメールが届きました。古希特別力餅奉納が許された。五大力さん力餅奉納歴史上、異例中の異例です。迎えた当日は晴天、多数の参拝者のなか男子の部最後の奉納となりました。あたたかい声援のなか『としおちゃ〜ん頑張っ〜』え、京都在住の幼なじみの声が聞えた。小学校の運動会で聞いた60年ぐらいい前とおなじ声援だった。無事奉納を終えて舞台から降り再びあたたかい声援を頂いた。

春を呼ぶ醍醐寺五大力さん、古希のすばらしいスタートを切ることができた。同窓生の皆さん、平井は益々元気です。来年はワールドマスターズ関西大会があります。3種目エントリーしました。次回、祝世界チャンピオンの報告をできるよう頑張ります。(文責 獣医12期 平井敏雄)

2026酪農学園大学獣医同窓会inTOKYO開催報告



世界獣医師大会が2026年4月21日に東京有楽町の東京国際フォーラムで開催され、これに合わせて獣医学科同窓会が東京新橋の第一ホテル東京で催されました。当初、30名参加の予定でしたが、結果的に40名参加という盛況ぶりでありました。

38期の筒井幸太郎氏の司会進行で、廣田和久同窓会会長の御挨拶があり、続いて中出哲也先生の乾杯の御発生で会が開催されました。獣医学研究科長の山下和人先生も御出席されました。

懐かしい顔ぶれが集まり、昔話に花を咲かせたり、獣医学の近況を話したりと、和やかに、また賑やかに会が進んでいきました。途中、蔵内勇夫日本獣医師会会長・世界獣医師会会長、上野弘道東京都獣医師会会長、村中志朗東京都獣医師会前会長が飛び入りで御参加、御挨拶がありました。

前同窓会会長の南繁先生の中締め御挨拶の後、中出哲也先生
リードで酪農賛歌をみんなで肩を組んで3番まで歌いました。
そして記念撮影をして散会となりましたが、20名の方が、ネ
オン輝く有楽町の夜の街へと、2次会会場を目指して行きた
した。（幹事：高橋恒彦）

[illegible]

堂地修教授退職記念式典開催報告



2026年3月28日（土）18時より「ホテルエミシア札幌」にて堂地修教授の退職記念式典が開催され、全国より81名（大人73名）が参加しました。

式典では堂地 修教授の長年のご研究と教育の集大成となる貴重なお話を伺いました。

また、谷川末菜さん（2025年度、大学院卒業）より「黒毛和種子牛における人工哺乳期間短縮および哺乳子牛への早刈りグラスサイレージの給与が発育に及ぼす影響」について講演いただき、活発な議論が繰り広げられました。

懇親会では近況報告等が行われあっという間に時間が過ぎていきました。

これからも堂地 修教授の益々のご健勝とご活躍を、心よりお祈り申し上げます。

同窓会開催報告

「谷山弘行前理事長元学長を偲ぶ会」開催報告



2026年3月7日16時から札幌ガーデンパレスにおいて「谷山弘行 前酪農学園理事長 元酪農学園大学学長を偲ぶ会」を開催しました。約130名の教え子、関係者、同級生等の出席を得ました。最初に開催実行委員長として中出が開催のご挨拶をさせていただきました。

次に黙祷を捧げ、引き続き追悼の言葉を酪農学園大学獣医同窓会会長廣田和久様、酪農学園大学獣医学群長山下和人様、東京大学獣医病理学教室教授内田和幸様、同級生の代表として東獣医科クリニック東 光昭様より頂きました。その後、参加者1人1人が色鮮やかなお花や清楚な白い花を献花いたしました。

次いで同級生の有田智幸さんが谷山先生とよく飲んだ「雪の茅舎」という一升瓶をご持参くださり、皆で「献杯」を捧げました。しばし「偲ぶ時」を過ごした後、谷山先生が学長就任時に有志が作成した「いつみても(顕微鏡的に)波瀾万丈」のDVDを鑑賞して谷山先生を偲びました。また先生とのスナップ写真をパワーポイントで流しながら偲ぶ時を過ごした後、谷山先生との思い出話を参加者からいただきました。友人戸田動物病院院長：戸田州信、兵庫県立大学自然・環境科学研究所/兵庫県森林動物研究センター准教授：森光由樹、ノースラボ代表：賀川由美子、ラッキー動物病院院長：大桑 真、前帯広畜産大学教授：古岡秀文、独立行政法人医薬基盤研究所 霊長類医学研究センター長、三重大学大学院医学系研究科 教授：保富康弘、ご友人：黒崎尚敏、教え子：小峰美紗、教え子：坂口佳菜子、後輩、酪農学園大学教授：萩原克郎、教え子：川迫一史、酪農学園大学副学長：樋口豪紀、菊水小さな動物病院院長：後藤正光、教え子：ベックス動物眼科：久保 明 各氏。

締め言葉として前獣医同窓会会長 南 繁さんから普段聞く事なかった谷山先生の思い出を語っていただきました。最後に谷山家を代表して次男の谷山弘太さんから、自分達が知らない父親の一面を知ることが出来て、嬉しかったとお礼の言葉が述べられました。その後60名の出席者が、大森中町の「どん兵衛」で開催された「献杯を捧げる会」に向かい、長女の谷山明子さんと共に思い出に浸りました。 中出 哲也



獣医学科二期生58周年記念同期会報告



5月20日、札幌市に獣医学科二期生15名家族8名が集り、卒業後58周年記念同期会を開催しました。十勝で開催した50周年以降はコロナ禍で毎年集まることが出来なくなり、今回は8年ぶりに高齢を押して集まった人の容姿の変貌に驚きました。卒業した41名のうち、11名が鬼籍に入られ開会前に黙祷を捧げました。

開会は逸見君の総合司会で始まりしました。高橋代表から、23名が集まることが出来たことは奇跡に近く嬉しく思いますとの言葉がありました。新崎君の乾杯で、再会を祝してグラスぶつけ合い、歓声が上がりました。参加者のテーブルごとからお互いに孫の話、自分の病気、腰が痛いなどと賑やかに轟音和音のようにも聞こえます。

一段落してから、テーブル毎にマイクを回し近況報告や昔話などが語られました。千葉県唐仁原君がリモートラインで参加してくれました。元氣そうで顔色も良く、何人かの方と近況を交換しました。

戸泉君が解剖実習でのエピソードで牛の解剖中にタンとテールが無くなった事があったが、持ち帰り復習をしたのでしょうか。学園祭の模擬コーヒー店で大儲け話。また同伴者の内緒話、特技の紹介等で仲間ならではの気兼ねない語らいで年並に負けない活力となりました。榊原君のリードで酪農讃歌を合唱した。植田君の閉会挨拶で、多くの同期生が集り有意義な輪を持つこと出来た事に感謝し、互いの健康を願いつつ再会を誓いお開きとなりました。

翌21日はバスで、今や北海道を象徴するエスコンFに立ち寄り、酪農学園大学を訪問し浦川酪農学園同窓会事務局長にご案内をして頂きました。学園の近代化に変貌した施設に驚きました。また国際的レベルの教育改革を達成した獣医学群は凄いことですね。

中央館屋上からの三六〇度の景色は原始林を上から眺めると壮大な気分になりました。

同窓会会館で学園の概要を説明して頂きました。逸見君が旧短大校舎教室で機農高校時代の机に彫刻した、知りあいの名前を偶然に見つけたと驚いていました。黒沢記念講堂では機農塾からの歴史を見分しました。学生食堂で昼食を頂き学園とお別れました。

札幌を一望できるリウの花咲く旭山記念公園をバスで周遊し移りゆく札幌の景色を楽しみながらホテルに無事到着しました。夜は近くの居酒屋で懇親をさらに深めました。22日 朝食後、各々再会を強く誓い散会しました。(文責 高橋 健)

〒069-8501

北海道江別市文京台緑町582

酪農学園同窓会

電話 011(386)1196

FAX 011(386)5987

Email: rg-dosok@rakuno.ac.jp.



酪農学園同窓会

酪農学園100周年記念寄付事業

創立100周年記念寄付事業

2024ホームカミングデー チャリティTシャツ募金

2,000円で購入いただくTシャツの一部が募金になります。

Tシャツ原価を引いた1,000円程度が

学校法人酪農学園 創立100周年事業への寄付になります。



Tシャツの色: ネイビー
左胸ワンポイント
・背中A4サイズ程度(白プリント)
※画像はイメージです。実際の生地の色やデザインが変わることがあります。

募集要項(7月よりホームページにて全文公開)

1. 募金の名称 創立100周年記念事業募金
2. 募金の目的・使途
施設の大規模改修・再編
(1) 大学: 研究・実習施設の整備・新設、事務管理棟の集約化など
(2) 高校: 基本方針として、現有施設を活用し続けるための計画的改修など
(3) 附属施設: 旧精農寮保存のための改修、馬術部施設の移転・新設、
研修館周りのインフラ整備など

問合せ先: 事務局財務課 011-388-4148 (寄付担当)

2026年度酪農学園同窓会理事会開催報告



4月17日(金)午後3時から同窓会会館2階大会議室を会場に2026年度の理事会が開催された。

会議に先立ち、学園役員との懇談会が午後1時から行われ、高島理事長他学園役員のご出席をいただき、高校、大学の学事報告や入試対策等での意見交換が行われた。

今年は、新学類の応募状況や校名変更問題について熱心な質疑応答が行われた。理事会には遠くは宮崎県、香川県、岡山県、大阪府、東京都等からもご出席いただき、23名での開催となり、活発な議論が行われた。

野英二会長から開会挨拶が行われ、冒頭永眠者追悼が行われた。議事は会則により会長が議長となり進行した。議事録署名人には志田和仁理事と山崎耕太理事を選出した。

議案(報告事項)では2025年度事業報告並びに収支決算報告が行われ、事務局より議案書に基づき、事業報告を行なった。内容は、全体概要および事業計画に基づく収支決算報告として一般会計および特別会計、監査結果が報告され、原案通り承認された。続いて各单位同窓会・地区支部活動報告が地区会長や単位同窓会会長から報告された。

次に審議事項として2026年度の事業計画と収支予算について(案)が事務局より議案書に基づき原案が提案し、承認された。

その他では、役員の変更やホームカミングデーへの協力依頼、全日本和牛共進会北海道開催時の同窓会協力等が提案された。また参加した理事から活発な意見をいただいた。

校名変更問題や酪農家表彰等についても活発な議論が交わされた。最後に福山二仁副会長から閉会の挨拶が行われ、理事会を終了した。その後、会場を新札幌に移動して懇親会が開催された。中出哲也副会長の司会により進行し、ご出席いただいた学園役員との和やかな歓談が行われた。



編集後記

新年度に入り、入学式、同窓会理事会、代議員会が終了し、あっという間に6月、ホームカミングデーの準備が始まっています。

校名変更問題や新学類の募集状況等気になる案件が山積みですが母校は今、爽やかな初夏を迎えつつあります。デントコーンも発芽してよいよ新緑から緑が濃くなる季節になります。昨年から「同窓のつどい」がホームカミングデー時に開催されています。

北海道旅行を兼ねてのご参加はいかがでしょう?

牛乳とアイスクリームで皆様をお待ちしています。



酪農学園大学

ブランドマークとキャッチフレーズ

生きるを学ぶ。
学びが生きる。

